

## 左官工事(海鼠壁・妻壁の漆喰塗り)

12月13日より、海鼠壁(なまこかべ)の下地工事が始まりました。  
良く乾いた荒壁に、横縄を塗り込みながら土を付けていきます。



その上に、海鼠瓦(なまこがわら)を取り付けるための下地を取り付けていきます。





横縄を塗り込んだ壁が乾いたら、藁(わら)流し(壁に藁を貼り付ける)をします。  
藁の上から土を塗り、斑直し(むらなおし)をします。



斑直しが乾燥したので、砂漆喰にて中塗りをします。  
この中塗りの上に、海鼠(なまこ)瓦を張っていきます。





海鼠瓦を張り付けるために、壁に漆喰を塗ります。



漆喰面に海鼠瓦を張り付け、さらにビスで固定していきます。





海鼠瓦の角部に糸を張り、通り良く瓦を張り付けていきます。

海鼠瓦の記名会で記名いただいた瓦も張っています。(裏側に記名があります。)



海鼠瓦の継ぎ目の紐漆喰(ひもじっくい)が、良く付く様に棕櫚縄(しゅろなわ)で下地を付けます。



この続きは、次回のブログで紹介します。



海鼠壁の工事と同時進行で、妻壁の漆喰塗りも進んでいます。

妻銕り(かざり)の懸魚(げぎょ)には、漆喰が良く引っ付く様に髭子(ひげこ 写真右下)を打ち付け、木部に直に漆喰を塗っていきます。

彫刻に合わせて、小さな鍔で塗っていきます。

左官職人さんの腕の見せ所です。





きれいに仕上がりました。



今回はこのへんで。次回をお楽しみに。